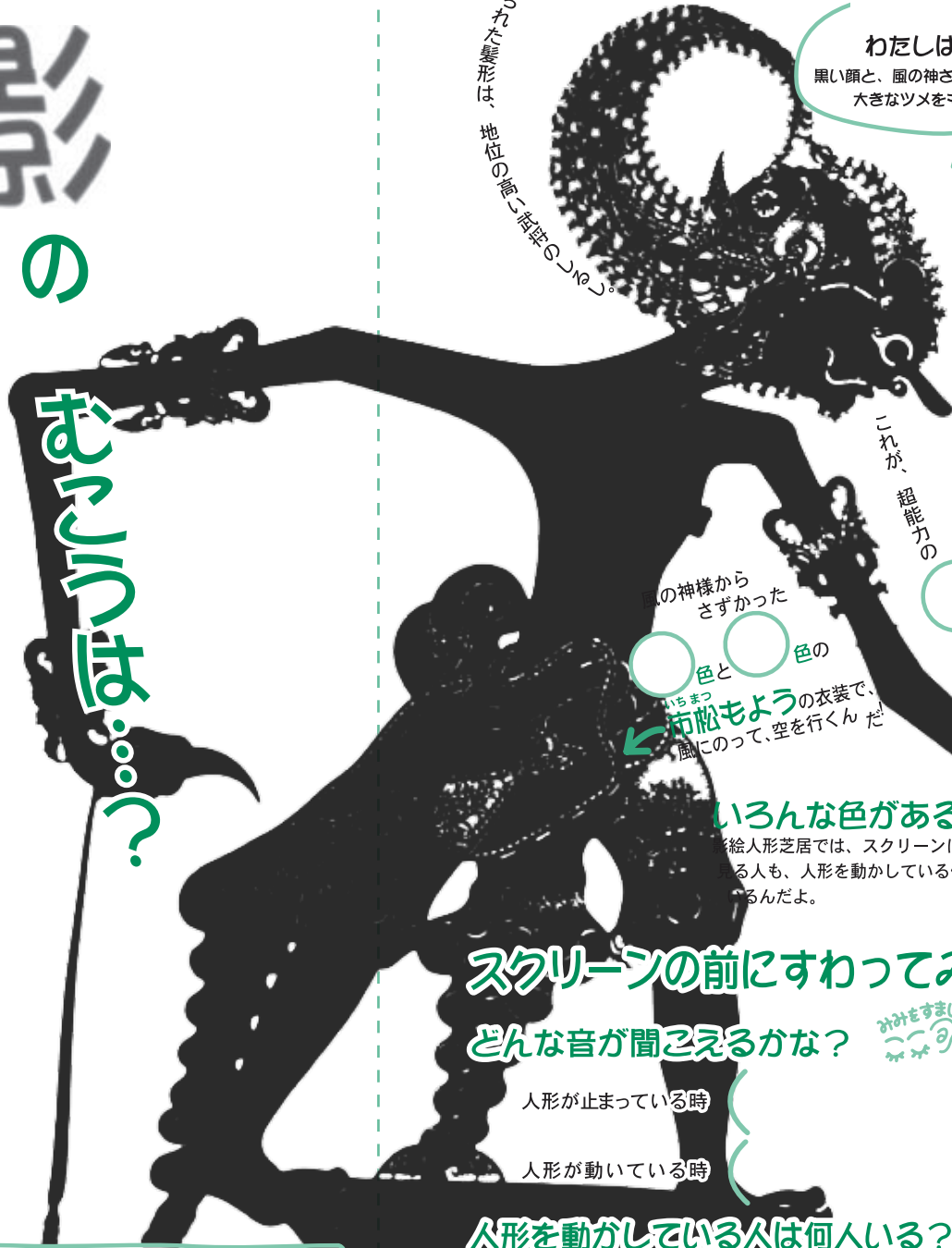


これは、インドネシア・ジャワ島中部の影絵人形芝居、ワヤン・クリット。

影の

むらびれを

どんな影絵？
どんなお芝居？



ヤマオリ
鳥の形は、地位の低い庶民の象徴。

二つの人形を探してみよう。

人形箱のふたの上にあるよ。

わたしは武将。
黒い顔と、風の神さまからさずかった
大きなツメをもっている。

わたしは王様。
この世界の正義を守る神さまから
力をさずかっている。

むりをかぶっているよ。

くらべてみよう。
目の形は どうちがう？

あいさつ、できるかな？

目上の人には、両手を
合わせて、こんな
あいさつをするよ。
持ち上げて、動かしてごらん。

VIDEO チェック！
ビデオテークの『1500 ワヤン・クリットの物語』(16分)で、
あらすじを見てね。

の神様から
さずかった
色と色の
衣装で、
市松もようの
風につけて、空を行くんだ。

いろんな色があるね。

影絵人形芝居では、スクリーンに映った影を
見る人も、人形を動かしている側から見る人も
いるんだよ。

スクリーンの前にすわってみよう！

どんな音が聞こえるかな？

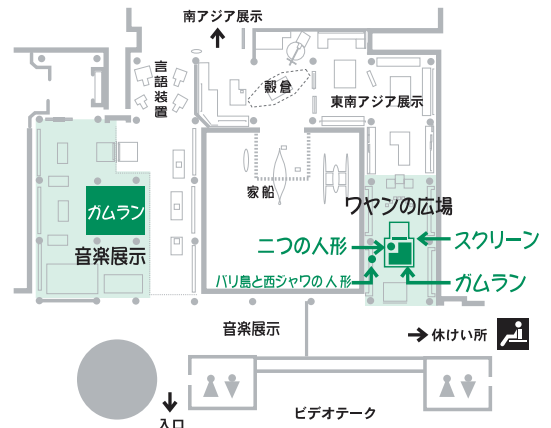
人形が止まっている時

人形が動いている時

人形を動かしている人は何人いる？

ヒントはウラ面

名前：



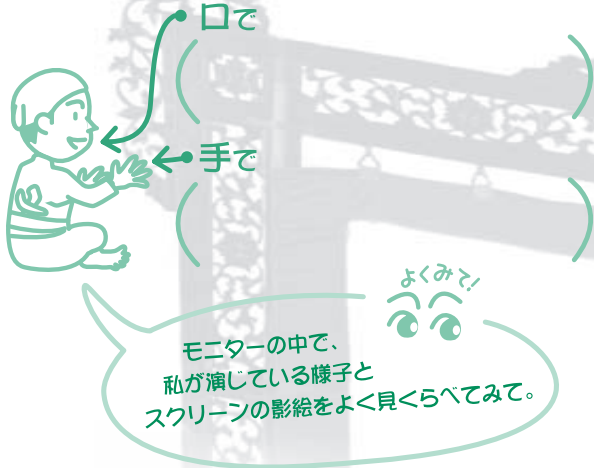
ヤマオリ

タニオリ

インドネシア・ジャワ島中部の影絵人形芝居。水牛の皮で作った人形をスクリーンに映し出して上演するよ。一人の人形つかいが、たくさんの人形を操って、物語を語り、登場人物のセリフを言い、音楽の演奏もリードするんだ。ワヤン・クリットは、誕生や結婚、田植えや収穫などを祝うために演じられていて、ジャワの人たちの生活の中でとても大切なものなんだ。

私は人形つかい。

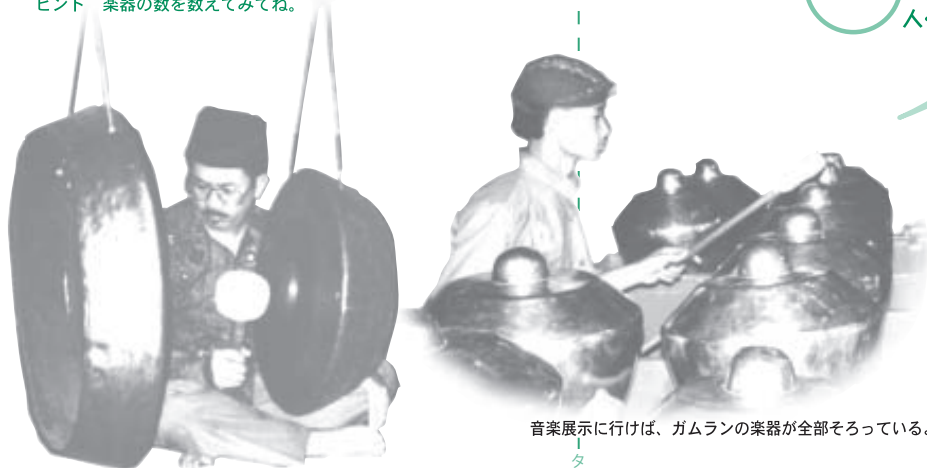
人形を動かす以外にもいろいろなことをしているよ。どんなことをしているかな？
モニターをよく見てごらん。



人形つかいは、ひとりで人形を動かし、セリフを言い、ナレーター役をして、歌をうたい、音楽を演奏する人たちをリードします。影絵人形芝居は、夜8時くらいから明け方の4時くらいまで続きます。その間、人形つかいは席を立つことなく上演を続けます。

ここにあるたくさんの楽器を、ガムランと呼ぶんだ。

よくみて！
ガムランを演奏する人は、何人くらいだと思う？
ヒント 楽器の数を数えてみてね。



音楽展示に行けば、ガムランの楽器が全部そろっているよ。見に行ってください。

タニオリ

私たちが演奏しているのと同じ楽器が見つけれられるかな？

見つけたら、

こぶをたたいてごらん。



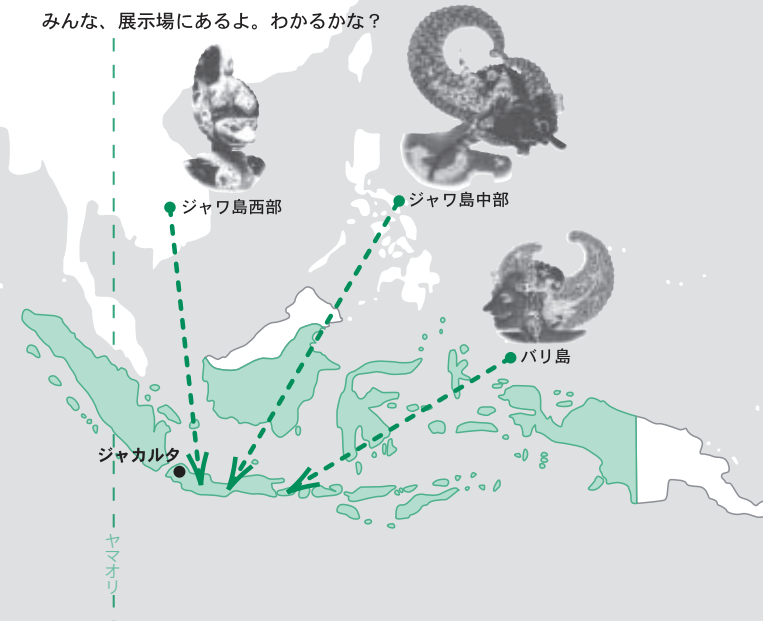
音が鳴っている間、息を止めて、よく音色を聞いてごらん。

ヤマオリ

さいごに... 考えてみて。
どうして影絵や人形を使って、芝居をやるのかな？
人間がやる場合とどうちがうのかな？

ところで、インドネシアって？

インドネシアは、大小合わせて1万あまりの島々からできている国です。言葉や生活習慣のちがう、たくさんの人たちが暮らしています。影絵人形芝居は、ジャワ島やバリ島でみることができますが、形もやり方も、地方によって少しちがっています。同じジャワ島でも西の方では影絵ではなく、木でできた人形を使ってお芝居をします。みんな、展示場にあるよ。わかるかな？



ビデオテープの『1501 ワヤン・クリットとガムラン』(15分)で、人形や楽器の作り方を見てね。